

## 令和6年度 第3回岡崎市入札監視委員会 定例会議 議事録

1 会議の日時 令和6年10月25日(金) 午後2時00分～午後3時00分

2 会議の場所 岡崎市役所 西庁舎7階 704号室

3 出席委員 委員長 櫻井 敬子(弁護士)  
(委員数3) 委員 太田 成紀(公認会計士)  
委員 齊藤 由里恵(大学准教授)

4 出席した事務局職員

荻野契約課長

金原主幹、三島主任主査、岩井主任主査

高村主査、大竹主査、豊川主査

5 概 要

(1) 契約課長あいさつ

(2) 報告事項

- ・入札及び契約手続の運用状況(対象期間:令和6年7月～9月)
- ・入札参加停止の状況(対象期間:令和6年7月～9月)

(3) 抽出対象工事等の審議

対象期間:令和6年7月～9月

- ・一般競争入札 7件
- ・指名競争入札 1件
- ・随意契約 1件

(4) その他

- ・意見書の提言について
- ・令和7年度以降の委員会の運営について
- ・次回の定例会議について  
後日、調整することになった。

<主な質疑>

| 質 問・意 見   | 回 答  |
|---|--|
| <p><b>【入札及び契約手続の運用状況について】</b></p> <p>○一部の工事にて入札参加者が少ないことの要因として、事業者側が参加する入札を選別しているのではないかという推察があったが、発注する事業数に対して、事業者数が少なすぎるというような、需給バランスが崩れているのではないか。</p> <p>○入札公告中の設計図書に係る質問が増加しており、それを起因とする入札中止が増えているとのことだが、熟練の技術職の市職員が少なくなっていることで、設計図書のミスによる入札中止が起こっているのか。または、事業者側が以前よりも設計図書の内容を細かく確認をするようになったのか。</p> | <p>○事業数について、建築一式工事においては、昨年度の同時期と比較すると発注件数は3件減少しているものの、発注金額（契約金額）は約10億円増加していることから、大型案件の発注が増え、事業数が増加したといえます。</p> <p>○建築系の工事では設計図書の図面が大変多く、市内部での精査には大きな労力がかかるため、ミスの見落としが起きてしまっているのではないかと考えられます。</p>   |
| <p><b>【抽出案件の審議】</b></p> <p>1 <u>岡崎市立根石小学校北棟大規模改修電気設備工事（岡崎市欠町地内）</u></p> <p>○落札率が高い要因は何か。</p>  | <p>○株式会社戸松電気工業所が落札率 99.8%で落札しています。</p> <p>本工事は、校舎の長寿命化と機能向上のため電気設備である照明、コンセントなどの大規模改修を行うものです。</p> <p>3者が入札に参加しましたが、2者が失格基準価格を下回り、1者が予定価格を超過したことから、2回目の入札を行い、有効な入札価格となった戸松電気工業所が落札しました。</p> <p>なお、本件の予定価格は事後公表ですが、2回目の入札時には予定価格を公表して実施しております。戸松電気は自社が受託可能な額と判断した8百万の減額を行い、応札しました。</p> <p>失格となった2者ですが、予定価格からかなり乖離があったため、失格となっておりますが、最近の設備系の工事入札において、こういった金額の乖離が大きいことでの失格</p> |

が散見され、予定価格と実勢価格との乖離が問題視されております。

## 2 漏水調査業務(岡崎市十王町ほか129 箇町地内)

○参加者が多い要因は何か。また、業務内容は。

○株式会社サンスイが落札率 89.2%で落札しています。

この業務は、水道管の地下漏水を早期発見することで、漏水を起因とした断水による市民生活への影響の拡大や道路陥没事故等の未然防止並びに、有収水量の向上に繋げるものでございます。市内を4分割し、4年で1サイクルとなるよう、毎年調査を行っております。

参加者が多い要因ですが、本業務は、市内事業者では規模的に履行ができず、市外事業者を対象としております。昨年度までは指名競争入札で実施しておりましたが、今年から一般競争に切り替えたことから、事業者にとっても、新規開拓の意欲から、参加者が増えたと推察されます。

## 3 岡崎中央総合公園多目的広場改修工事 (週休2日)(岡崎市洞町地内)

○9者が参加しているにもかかわらず、失格、不調となった要因は何か。

○この工事は、令和8年に開催されるアジア・アジパラ競技会において、岡崎中央総合公園多目的広場がアーチェリーの競技会場となる予定であるため、19,539㎡の芝生を張り替えるものです。

応札をしたすべての事業者が、失格基準価格を下回ったことにより不調となりました。不調の原因として、芝の処分費用に乖離があることが分かりました。

はぎ取った芝の処分は、きちんと土を落として処分場へ持ち込みをしなければいけないのですが、事業者はそのまま処分することを想定していたようです。再度の入札においては、設計書の処分費用の欄に【根土を落として搬出すること】と記載し、特記仕様書に芝処分先と注意事項を記載することで対応

4 岡崎市シビックセンター改修工事(週休  
2日)(岡崎市羽根町地内)

○予定価格が高額だが、1者のみの参加、不調となった要因は何か。

○入札に当たって入札参加者からの技術提案を求めているが、どのような内容か。

○技術提案は誰が評価するのか。

5 岡崎市美術博物館改修工事(第2期)(週  
休2日)(岡崎市高隆寺町地内)

○契約金額が高い理由は何か。

しています。

○この工事は、4階ホールの特天天井の脱落防止対策工事とそれに伴う設備改修のほか、各階の便所改修、施設全体の照明改修、空調熱源改修等を行うものです。

1者のみの入札となった経緯は不明ですが、施設を使用しながらの改修工事であることが要因だと推測しています。応札は鴻池・小原JVが行いましたが、予定価格19億7,000万円に対して応札額23億円となり、3億3,000万円の差がありました。

不調となった要因について、サブコンに対する需要が多いため、下請けに入るサブコンの確保が難しい状況である点、施設を使いながらの改修工事であるため工程制約が多い点、鉄骨資材、シャッター、エレベーターの価格に乖離があった模様です。なお、本市の建築工事積算ルールの中で見直しを行い、再入札を予定しています。

○ホール改修工事の音響品質に係る施工体制に関する提案と、施設利用者への配慮及び周辺環境への対応に関する提案を求めました。

○事業担当課の職員3名が評価をします。

○酒部建設株式会社が落札率97.4%で落札しています。

本工事は外壁屋根の防水改修、大屋根の塗装、地下ピットの冷温水槽の改修、展示室内装改修及び点字ブロックの増設等のバリアフリー改修等を行うものでございます。

1回目の応札で予定価格を超過したのち2回目の入札で落札していますが、契約金額

6 岡崎中央総合公園総合体育館改修工事  
(岡崎市高隆寺町地内)

○契約金額が高いが、参加者が2者、再度の入札では1者応札となった要因は何か。

7 岡崎市立矢作中学校北棟大規模改修工事  
(岡崎市暮戸町地内)

○契約金額が高いが、入札参加者4者中3者が予定価格超過、1者が調査基準価格未満という特徴的な結果となった要因は何か。

8 岡崎市民病院物流管理業務(岡崎市高隆寺町地内)

が高い要因として考えられるのは、施設を使いながらの改修工事であるため工程制約が多い点が考えられます。

○丸ヨ建設工業株式会社が落札率 94.8%で落札しています。

この工事は、令和8年に開催される予定の愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会に向け、中央総合公園総合体育館が大会の競技基準を満たすようにするため、バリアフリー改修、便所改修、照明改修等を行うものでございます。

参加者が2者、再度の入札では1者応札となった要因について、令和6年度から予定価格1億5,000万以上の工事で、1回目に不調となった工事については、2回目入札時に予定価格を公表しておりますが、その予定価格に折り合わない業者は辞退したためと考えられます。昨今、建築業界の入札参加者が少ないことが問題となっており、参加者を増やす対策を検討しております。

○大黒屋建設株式会社が落札率 89.4%で落札しています。

この工事は、校舎の長寿命化と機能向上のための大規模改修を行うものでございます。

4者中3者が超過、1者が調査基準価格未満という結果の要因として、建築工事の見積りの難しさが挙げられます。図面から数量をはじき出し、工種も多く様々な専門業者から見積りを取る必要もあるためです。そのため、金額にばらつきが発生したと思われま

○契約金額が高く、入札参加者が1者、落札率が低い要因は何か。

○ワタキューセイモア株式会社名古屋支店が落札率 82.0%で落札しています。

この業務は、「物品管理業務」「滅菌管理業務」「リネン洗濯管理業務」「薬剤管理業務」「リネン管理業務」「内視鏡器材洗浄業務」「薬剤ピッキング装置等補助業務」の7業務を一元的に委託するもので、省力化を図ることによる効率的な病院運営を行うもので、3年の長期継続契約となることから設計金額が高いです。

参加者については、医療関連サービスマーク制度に登録のある業者でかつ7業務を一元的に担うことが可能な業者を指名しました。業務内容的には対応可能業者は5者ほどおりますが、事前の確認をしたところ、3者が辞退を示したため、残りの2者を指名し、入札を実施しました。

結果として、株式会社エフエスユニマネジメントが辞退し、ワタキューセイモア株式会社名古屋支店が落札しました。当該業者は現在受託業者であったため、業務内容を熟知しており、人材確保も容易であるため、落札率が低くなったと思われます。

なお、本入札の結果をうけ、競争性の確保を図るため、次回の発注は業務内容を分割することも検討すると聞いております。

## 9 都市計画道路岡崎環状線法面修繕工事 (岡崎市明大寺町地内)

○随意契約とした理由は何か。

○梶原建興有限会社が落札率 99.2%で落札しています。

この工事は、明大寺町地内における都市計画道路岡崎環状線道路予定地において、法面崩壊箇所が発生したため、緊急修繕工事を行うものです。

当該箇所は4mを超える高さの法面であるが、土砂崩れ等により近接住宅への被害の危険性があること、また現在梅雨の時期であることから、早急な修繕が必要となりました。同種工事の実績のある複数の業者から見

積徴取を行い比較した結果、最も安価であったことや、昨年度に類似工事の実績があり、直近の現場状況を熟知していること及び資機材・労務等の早急な手配が可能であることから、地方自治法施行令第167条の2第1項第5号の規定により当該業者と随意契約を行ったものです。

**【意見書の提言について】**

○意見なし

○今年度に市に提出する意見書について、提言案は以下のとおりです。

- ①低入札価格調査について、調査方法を改善し、受注者の負担を軽減する施策の検討
- ②総合評価方式の対象範囲の検討
- ③質問回答制度の改善策の検討
- ④第3次担い手3法（入契法、品確法、建設業法）の対応検討

**【令和7年度以降の委員会の運営について】**

○意見なし

○令和7年度以降の委員会の運営について、以下のとおり変更することを提議いたします。

- ①定例会の開催回数について、現状の年4回開催を初年度2回、2年度に3回に変更する。
- ②中間報告書の提出をやめ、意見書に集約する。